

# 火の川



第327号

【編集発行】熊日宮原販売センター

八代郡氷川町柵16-3

TEL 0965-62-3868 Fax62-2867

E-mail kuma-miya@rainbow.plala.or.jp

2023. 10. 22

## 激レア果実で、ギネスを感じよう♪

～「バンペイユ」の花の匂いも生かす～

第10回全国大学生政策アカデミー1/2



バンペイユの加工品より、素材の味と匂いをアピール！で優勝したCチーム

8月25日から3日間、氷川町まちづくり情報銀行で第10回全国大学生政策アカデミーが開催され、大学生や氷川町職員ら24名が参加した。今回のテーマは「氷川町の農産物」で、5チームが商品開発や販売戦略を提案。ミニコミ紙では、優勝と準優勝のチームの企画概要を2回シリーズで紹介する。

### ◆激レア果実で、ギネスを感じよう

#### 1. 目的

バンペイユの加工品ではなく、世界一大きい柑橘類というギネスに登録された果実の知名度向上と、生の晩白柚の味や香りを若い世代に認知してもらう。

#### 2. 対象

- ・20代から30代の若者
- ・近年ニーズのある体験型イベントに関心のある人
- ・様々な体験を行い、自身の教養を高めたい人
- ・地産地消に興味がある人
- ・農業体験に興味がある人
- ・フルーツや柑橘類が好きな人

#### 3. 内容

- ・1年スパンの体感プログラムを展開
- ・4月下旬～5月
  - 現地では花と蕾の匂いを楽しむ
  - 希望者に摘花や摘蕾を送る
- ・12月～1月

→晩白柚の収穫、うまみの体験

→皮を風呂に入れる、B品を部屋や車内の芳香剤として活用する

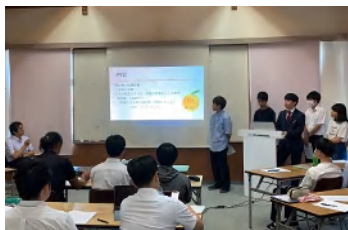
→参加費 3,000円～

#### 4. 効果

- ・晩白柚の認知やリピーターの獲得と、消費者の声を反映
- ・他の柑橘類や農産物へのアプローチのきっかけ作り

#### 5. 課題

- ・SNS等を活用した集客手法
- ・関係人口へ発展させるシナリオ



プレゼンをおこなうCチーム

### いわっちょの面白写真 ～あつおが見つけたものは？～

熱海市のマスコット「あつお」くんが、お散歩中に見つけたマンホール。1950年4月13日、熱海市の埋め立て工事現場でたばこに火を付けたマッチの不始末が原因で熱海大火が発生した場所。死者は出なかったものの、強風で燃え広がり、市街地の1/4が壊滅したそうです。

熱海温泉ホテル旅館協同組合が、観光客向けに毎月行う熱海花火大会はとても有名ですが、大火の街の復興とその努力に報いるべく打ち上げたのがはじまりだとか。



相続登記、法人登記、訴訟業務、成年後見業務など、お気軽にご相談ください。

司法書士法人 川口事務所

司法書士 川口邦則  
(熊本県司法書士会会員)  
住所 氷川町今143-1  
電話 62-1770



事務所移転しました！



## 亜紀さん・だいじょうぶ♪・大作戦(ADD)

～八代から亜紀さんへ元気を贈ろう！！～

すでにご承知のとおり、八代亜紀さんは本年9月12日、膠原病により活動を休止し、治療に専念されています。これまで、地元八代に大いに尽力頂いたことに感謝し、早期回復を願い、このプロジェクトが現在進行中です。

①亜紀さんへの、お見舞いや励ましてのお菓子を、エフエムやつしろ宛にお送り下さい。番組や弊社掲示板にてご紹介させて頂くとともに、取りまとめて亜紀さんへお届けいたします。

②エフエムやつしろ76.5MHzの各番組内で、亜紀さんの歌声とともに「だいじょうぶ」の1コーラスを一緒に歌う。

③エフエムやつしろ番組「今日も八代亜紀晴れ」毎週木曜15:30～毎回ゲストの方に歌って頂く。

今後、各団体へも広げ、多くの皆さんに歌って、亜紀さんを応援して頂き



たいと考えています。

今日もラジオから・・・我々の歌う八代亜紀さんの歌が流れます・・・

お問合せ：エフエムやつしろ43-7651  
〒866-0862 八代市松江城町1-25



## 林野火災を想定した訓練 八代市消防団東陽方面隊

9月10日、館原地区の農道湯の谷線で、八代市消防団東陽方面隊の「林野火災を想定した中継訓練」が実施された。

当日は、約60名の消防団員が出動し、小型ポンプ5台とホース26本を連結。小浦川から取水した水を、約500m先の農道先の火点を目掛けて放水した。

取水地点から放水地点まではかなりの高低差があるため、ポンプ操作の高い技術力が求められる。水本隊長の指示のもと、団員たちはトランシーバーを活用しながら、指揮本部や各分団で的確に情報伝達を行い、林野火災の実践的な訓練を行った。



500mを中継した放水訓練

【写真提供：東陽支所さま】



## 北海道の大自然と悲しき歴史を学ぶ♪

～ふれ愛・スタディin大空町レポート2/2～

### ◆北海道の貴重な大自然

北海道には、本州や九州とは違う動物や自然が多くある。最も強くそれを感じたのは、知床半島で環境について学んだときである。滞在中、ヒグマの親子やエゾシカの親子、リスなど野生の動物に複数出会った。ガイドさんのお話の中で、「ヒグマ等の動物の住処に人間がおじゃまする」という言葉が印象に残っている。

オホーツク沿岸は、2月になると流氷が流れて来て一面の銀世界になる。日本の中で唯一冷帯に属する北海道では、動物も景色も九州とは全く違う。しかし、だからこそその自然を、動物たちを守るため、多くの人たちが

が努力していることを学び、私も環境を守るためにできることをしていきたいと考えた。

今回北海道で学んだことはまだまだあり、書き足りないくらいだが、ぜひみなさんにも一度北海道に行ってみて欲しい。

### ◆複眼で見る

北海道に行くことで、氷川町の魅力にも改めて気づく事ができた。吉野なしや晩白柚、いちごなどの特産品や学校と地域の結びつきなど、氷川町にいて当たり前のことでも氷川町の魅力であり、誇れる宝物だと思えた。

私がここで書くくらいでは伝わらないほどの魅力が、北海道にも氷川町にもある。遠く離れた氷川町と北海道大空町との交流を4年ぶりに行うことができ、北海道について学び、氷川町をもっと好きになれたのは、多くの人の協力や力のおかげだと思う。

今回出会った方々、これから出会う方々とのご縁を大切にしたい。この出会いに、経験に感謝し、氷川町をもっと色んな人知ってもらえるよう努力していきたいと思う。

【八代清流高校2年：稲本美聖】



### 「五家荘紅葉祭」

◇期間中の交通規制日

11月3日・5日・12日

#### ◇イベント情報

- ・五家荘伝承芸能祭10月1日9:10～  
(場所：振興センター五家荘)
- ・宇野ゆう子LIVE 10月15日18:00～  
(場所：ふれあいセンターいずみ)
- ・琵琶と夜神楽11月5日10:30～  
(場所：五家荘平家の里)





# ファーストペンギンになる(51)

## 自主性&協調性で、団体生活を送ろう♪

### 山・川・海でガキ大将キャンプ～1/2



芦北町田浦での海水浴を終え、少々疲れ気味の子どもたち

8月20日から2泊3日の日程で、1～5期生が初めて企画運営したガキ大将キャンプ。今月から2回シリーズで振り返る。

#### ◆ガキ大将の目標2つを胸に

初日は宮原振興局に集合し、みんなをまとめる人、まわりや先が見える人など8つのガキ大将の姿から1人2つずつ選び、バスに乗車。40分ほどで芦北町鶴ヶ浜海水浴場に到着し、昼食を済ませていざ海へ。

最初のプログラムは、海の中からスタートするビーチフラッグで、年齢などによりハンディを付けた勝ち抜き戦だ。小学生が砂浜を走るには、少し体力不足だったかもしれないが、笑顔で楽しんでいた。一番盛り上

がっていたのは、まだ小学生気分が抜けない5期生だったかも(笑)

その後、ビーチバレーや海の中の生き物探しを行い、17時前に宮原の田中邸へ到着。団体戦でビリだった班が食事番で、他のメンバーは入浴タイム。水着やバスタオルはコインランドリーで洗い、乾かした。

◆ジャガイモがつぶれない、米がバサバサ  
夕食のメニューは、定番のカレーとポテトサラダ。ジャガイモの茹で時間が足りず、なかなかつぶれない。ご飯も少し水分が足りなかったが、片付けまで協力し、夜はゲームなどをして楽しんだ。

【熊本高専4年：堀川桃子】

#### 【1～5期生のふりかえり】

- ・海プログラムの説明が、不十分だった
- ・小学生の面倒を見ることができた
- ・小学生より自分のことを考えてしまった
- ・食事は準備から片付けまで、みんな頑張っていたと思う
- ・カレーの量が多く、もう少し考えるべき
- ・ポテトサラダは、難しすぎる
- ・ゲームを通じて、すぐに仲良くなった



海の中からスタートするビーチフラッグ

#### 5期生の学びのまとめ

土曜日の定例学習会の学びのふりかえり、そして表現力アップを目指し、5期生が毎月の学びをまとめて紹介する。今回は、9月の学びby四宮風佳(水川中1年)♪

**『5期生！ 今月は大変だ！』**  
～企画書をパワーアップさせよう!!～  
「政策アカデミーの発表が終わったぞー!!」と安心して、いた私たち…。プレゼンはこれからが重要だ！中学生から見たプレゼンが、これからは大人の人かしたら全然ダメ！ということ。これから、より良い企画発表のために企画書を**パワーUP**させていきます!!

～ギョウち石像の変身!?～  
10月31日はハロウィンの日！9月7日、ハロウィンのかざりつけについて話し合っていて、なんと！実行することが決定しました!!  
10月21日、22日には5期生の合宿があり、その日にかざりつけをします!!  
ギョウち石像が仮装しても、と可愛くなるので、お楽しみに!

★ミニまとめ★  
ある日、定例学習会で8月の学びのまとめの投票をした！みんな、系会をカノえたり、マカニをひいたりして、はなやかならした！投票では、まてちゃんが1位に輝いた！2か月連続優勝だ！たまたま、すごいな～と思った!!

# 【彩の国から～人と地球のための新・幸福論⑧】

## 「ヒートアイランド」VS「クールアイランド」

### ～鈴嶋克太(子ども記者08)～

僕の近所も9月中旬以降、急に秋めいてきた。面白いのは、気温が下がって「秋だ。肌寒い」と感じたところに、蝉も鳴かなくなるのだ。あるいは、食欲が湧いてきて「おはぎが食べたいな」と思ったら、カランダールをチェックすると、明日が中秋の名月だった、ということがあった。また、夜に窓を閉めたまま寝られるぐらい涼しくなると、急に睡眠が深くなる。

こんな風に、田舎の方に住んでいると、気温や田畑・動植物の変化と自分の体がリンクしている感覚を取り戻せ、心が生き生きしてくる。

#### ◆60年に一度の現象

今年の夏は異常に暑かった。世界中で、6～9月の各月の平均気温が歴代最高を更新。日本の研究グループによると、今夏の日本の酷暑は、温暖化した地球であっても60年に一度の現象だったが、温暖化がなかった場合の発生確率はゼロだ。

#### ◆昔は猛暑日がなくて夏が終わり?

さらに、東京のような大都市では、道路や建物に熱が蓄えられるヒートアイランド現象により、暑さに拍車がかかっている。

10月10日の東京新聞で、過去100年の東京の6～9月の日平均気温をグラフ化した記事が掲載された。1901～20年の平均値



アパートの前の風景：柿の木と稲のはせ掛けでは、26度を越えた日は一日も無かったらしいが、2001～20年では、26度以上の日が約半分(2ヶ月)に及んだという。

気象庁のホームページで高度成長を迎える前の東京(1950～1960年)の気温を見ると、7月下旬でも最高気温が30度に届かず、8月中旬でも32度程度で、「猛暑日」がほとんど無く夏が終わる、という年もある。7月の梅雨明けと同時に35度以上を連発する現在とは大違いだ。

#### ◆クールアイランド

対照的に、首都圏でも、海や湖の近くや田園や林に囲まれた地域などは「クールアイランド」であり、幾分ましである。僕のところも、カーテンで日射を遮ったり、風通しを工夫したりすればエアコンは不要な日が多い。体感的には都心と比べて2週間ほど、冬・春が長く、秋の訪れも早い。

困ったのは、仕事等の用事で東京の方に出かける時である。感覚的には、宮原から東京に出てくるようなもので、毎回都心の暑さに参ってしまった。

日本の大都市は緑が少ない。もっとも水辺や緑地を増やして、涼しい街にして欲しいものだ。さもなくば、これからさらに温暖化が進み、出歩くに耐えられなくなるのではないかと。



## 子どもや若者が、長野県小布施町で学ぶ ～25年目を迎えた交流、故市村良三町長を偲ぶ～

#### ◆故市村良三町長の仏前へ

10月14日、本年6月14日に75歳で逝去された前小布施町長の市村良三さんの仏前へ手を合わせました。今年は、私が市村さんと出会って25年目。毎年のようにイベント等で小布施町を訪ねては、熊本土産を手に真っ先に市村邸を訪れるのが常だった。

市村さんは2005年1月に町長に就任して4期16年務め、観光庁の観光カリスマにも選定。「協働と交流のまちづくり」を旗印に、農業の発展や農商工連携の推進に大きく力を注がれた。

#### ◆きっかけは行政視察

1999年、宮原の中心市街地再整備に伴い、平岡町長以下4人で小布施町へ街並み修景事業の視察へ行った。その時に対応されたのが、小布施町の副社長であり第三セクター・ラボ小布施の社長であった市村さん、そして私が後に兄として慕う関谷啓次さんだ。視察終了後、関谷さんと双方の

農産物について歓談。そんなご縁があって、2000年に1周年を迎える6次産業センターで、担当外ではあったが私1人で宮原の物産を初めて販売した。翌年には、関谷さんが北斎展と物産展で来町し、現在も継続している民間交流わらべ市へと発展した。

また、小布施インターンに参加した宮原出身の深川悠氏が小布施町役場へ就職。交流機会も増し、熊本地震と小布施の水害時には両町から義援金が贈られた。

#### ◆大学生や子どもも交流

さらに、私が秋の六畜市で柑橘類を販売する折は、インターンOB OGが参加。隼水川のぎろつちよ設立後は、小布施屋との取り引きも行っているのである。

市村さんは、変顔コンテストの後援依頼で訪れた子どもたちにも対応。以来、お会いする度に「女の子から毎年賀状が届くよ。宮原の子はすごいね」が口癖だった。

【宮原販売センター：岩本剛】



六畜市でインターンOGと交流(左)、深川氏も同席して表敬訪問(中)、小布施屋で復興支援の農産物販売(右)



#### ◆小布施町との交流等(抜粋)

- ・1999年～小布施町へ街並み修景事業の視察(町長他4人)
- ・2000年～宮原観光物産展
- ・2001年～信州小布施物産展(以下、民間交流へ発展)
- ・2002年～わらべ市長者便運行、わらべ市開催(以降継続)
- ・2003年～宮原農火の会が安市へ参加、岩本が六畜市で農産物販売(以降継続)
- ・2008年～岩本が小布施町振興公社へ入社(翌年9月退社→宮原販売センター店主)
- ・2010年～深川悠氏が小布施町役場へ就職
- ・2018年～隼水川のぎろつちよ1期生が市村町長表敬訪問
- ・2019年～隼水川のぎろつちよ3期生が小布施屋にて復興支援販売、宮原販売センターにて復興支援リング販売2回
- ・2021年～深川悠氏が小布施町役場を退職してAgriUnion合同会社を設立
- ・2022年～隼水川のぎろつちよ1期生がAgriUnionを視察



## 木造解体業

# (有)もみのき

氷川町宮原1440-1

Tel 62-4681 携帯090-3669-8000



高齢者賃貸マンション【セレニティ全量】(株)アシスト1 代表取締役 江崎 裕

## 高齢者賃貸マンション「セレニティ」入居者様募集

- 入居条件は、60歳以上の方であればどなたでも入居できます。
- 場所は、宮原のドラッグストア「セムス」の裏にあります。
- 費用は、3食含めて1ヵ月115,000円程度です。(税別)
- 空室状況：1人部屋3室です。
- 見学や詳細な問い合わせは、いつでもお申し付けください。

住所：八代郡氷川町宮原578-1(ドラッグストア：セムス裏)

問合せ先：高齢者賃貸マンション「セレニティ」 TEL62-1000